

第60代理事長挨拶



第60代理事長

菅野 太喜

福島青年会議所は本年度で発足から60周年を迎えます。諸先輩方がふるさとの発展に寄与すべく連綿と紡いでこられたその歴史には、その時代それぞれの特徴が編み込まれており、全ての事柄が複雑に絡み合いまるで一本の綱のように太く、強く、しなやかに縊（よ）り合わされています。昨今の社会情勢は様々な難題を抱えておりますが、私たち現役メンバーは驚異的なスピードでその変化に適応し、今まさに進化の途上にあります。この時代に即し、青年会議所として地域社会に資する事は何か、青年経済人として目指す姿とは何か、為すべき事は何か。60周年を迎える私たちはその命題に正面から取り組み、全会員が一丸となって運動を展開してまいります。

今日までの謝意と今後への意気込みを込めて、今年のスローガンを「前へ！～感謝を込めて新しい一歩を～」と定めさせていただきました。皆様に於かれましては、どんな環境においても時代の変化を楽しみ、チャンスと捉えて歩みを進める私たち現役メンバーへのご指導ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。

本年は3つの通常委員会に加え、60周年実行委員会を設置し合計4つの委員会で運動を展開してまいります。詳細は次頁以降に記載させていただきますが、対外的な事業が盛りだくさんとなっておりますので、ぜひご家族や会社の皆様とご参加いただき、若き獅子たちの奮迅の活躍をご覧いただければ幸いです。

最後となりますが、歴史を紡いでこられた諸先輩方、そして当青年会議所の運動にご理解、ご協力を頂いております賛助会員の企業様、皆様の益々のご隆盛を祈願し、私からのご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人福島青年会議所 2023年度年間スケジュール

※予定を掲載しています。諸般の事情により事業開催時期が前後する可能性があります。

1月	19日	京都会議(19～22日)	7月	1日	福島ブロック大会(1～2日)
	31日	例会並びにOB・現役合同新年会		22日	サマーコンファレンス(22～23日)
2月	11日	第9回暁まいり福男福女競走	25日	例会	
	28日	例会	29日	60周年記念式典・祝賀会	
3月	28日	例会	8月	4日	第1回福島わらじまつり鼓笛パレード
4月	25日	例会		5日	第2回福島わらじ綱引
	30日	第11回信夫山パークランニングレース		17日	第40回とうろう流し花火大会
	30日	植樹事業	29日	例会	
5月	13日	第35回わんぱく相撲大会県北場所	9月	2日	東北青年フォーラム(2～3日)
	18日	南投国際青年商會訪問(18～20日)		16日	郷土愛を育む人財育成事業
	30日	例会	26日	例会	
6月	27日	例会	10月	1日	60周年記念事業
		防災・減災事業(未定)		6日	全国大会(6～8日)
			24日	例会	
			11月	28日	例会・出向者報告会
				12月	19日

本年度(2023年度)は例会時の「理事長挨拶」をYouTubeで配信いたします。以下のQRコードから福島青年会議所公式YouTubeチャンネルよりご視聴ください。



YouTube

PLEASE ACCESS!

2023年度委員会紹介

ふくしまの元気委員会



事業内容

1. パークランニングレース及び植樹事業の実施
2. 郷土愛を育む人財育成事業の実施
3. 防災、減災にかかる事業の実施
4. ブロック大会（会議）引率
5. 全国大会（会議）引率
6. 2月例会の設営・運営
7. 入会者2名の達成
8. 報告書の作成

活気溢れるまちへ戻れるように、市民と協力していくことで、ふくしまに元気と笑顔を届けます。当委員会はメンバー同士で協力しながら盛り上げて、たくさんの人々にふくしまで楽しむチャンスを掴み取る手助けをします。そして、青少年はふくしまの未来を担う大切な存在であるため、世代間交流を通して、郷土愛を醸成します。JCI福島としてまちの活性化に関わることで、ふくしまが元気になるように頑張っています。

委員会スローガン
楽しむチャンス
を掴み取れ

副理事長	井上 健太郎	
委員長	加納 総一郎	
副委員長	並河 暢彦	
副委員長	庄 宝旺	
委員	高子 芳典	菅野 和記
	秋元 綜弥	五十嵐 拓道
	安江 成吾	日下部 皐月
	橋本 長武	丹治 秋人

まつり本気委員会



事業内容

1. ふくしまの伝統文化を伝え故郷の魅力を発信する事業の実施
2. 福島わらじまつりの発展に寄与する事業の実施
3. 福島わらじまつりへの参画、並びに関係団体・組織との連携
4. 東北青年フォーラム引率
5. 6月例会の設営・運営
6. 入会者2名の達成
7. 報告書の作成

新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、社会の在り方は大きく変化してきました。このままでは、先人達が紡いできた伝統や未来への希望は時代の変遷と共に消えてしまいかねません。当委員会では、ふくしまの伝統文化について、地域を巻き込んで次代へと継承していくため、歴史や故郷の魅力を発信する事業を展開し、住民の伝統文化に対する関心向上につなげます。また、福島わらじまつりにおいては、一層の発展に寄与するため、子どもから大人までの幅広い年代が参加・観覧できる事業を実施し、裾野の拡大と更なるまつりの盛り上がりを実現します。今こそわれわれは、地域とそこに住まう人々の弥栄（いやさか）を願う気持ちを熱く滾（たぎ）らせ、明るい豊かな社会の実現にむけた事業を展開してまいります。

委員会スローガン
TAGIRE!!

副理事長	太田 憲一	
委員長	阿部 知浩	
副委員長	高橋 祐人	
副委員長	谷口 隆治	
委員	佐藤 海華	大塚 雅文
	佐々木 健太	竹田 悠
	曳地 優介	斎藤 なつみ
	高橋 城司	渡邊 直樹
	高橋 智大	小原 学
	藤田 彩里沙	赤間 亮介

組織力強化委員会



事業内容

1. 総務に関わる業務及び諸会議の議事録作成
2. JCI福島に関する広報活動
3. 会員の学びとなる例会の設営・運営
新年会・卒業式の開催
4. 会員拡大運動の実施・統括
5. 新入会員へ向けた入会セミナーの実施
6. サマーコンファレンス引率
7. 対外向け広報資料の作成と送付
8. 報告書の作成

JCI福島が地域に必要とされ貢献できる持続的な団体になるためにJCIの理念・運動を効果的に対内外に発信するとともに、学びと成長の機会を創出することで、新たな共感の輪を広げ組織価値を高めてまいります。

また、JCI福島の未来を担う新入会員が個々の能力を発揮し輝くことで人が人を呼ぶような組織となるよう、入会後のフォローアップを含めた人財育成を行います。メンバー同士の密で円滑なコミュニケーション、理念や知識を共有し対等に意見を述べられる場を設えることを運営の方針として委員会の活動を行います。

委員会スローガン
「百聞は一行にしかず」
～まずは自分の目で見て行動しよう～

副理事長	高野 智宏		
委員長	今野 恵介		
副委員長	竹内 潤		
副委員長	根本 康一		
委員	新田 泰大	半澤 明大	
	須賀 さとみ	渡邊 翔太	
	廣野 隆	藤原 秀信	
	玉井 翔也	菊地 亮太	
	相馬 祥乃	松崎 義将	

60周年実行委員会



事業内容

1. 60周年記念式典の実施
2. 60周年記念事業の実施
3. 60周年記念誌の作成
4. 60周年記念に関わる一切の取りまとめ及び実施
5. 各種関係団体並びにJCI南投への渉外対応
6. 各地周年事業の引率・参加のとりまとめ
7. 報告書の作成

JCI福島は、2023年7月で創立から60年目を迎えます。60年の歴史と伝統は、諸先輩方をはじめ、関係諸団体の皆様、地域の皆様と非常に多くの支えがあって、今日に至ることができました。

60年という節目に、その感謝の想いを伝え、次なる65周年へ繋げるべく運動、活動を展開してまいります。

実行委員長	大和田 諒
記念式典担当理事	菊池 翔太
記念事業担当理事	清水 達馬
記念誌担当理事	金子 真樹

委員会スローガン

感恩報謝

～JCI福島 創立60周年～

事務局・財政局・監事紹介



専務理事 尾形 翔平
事務局長 遠藤 翼
財政局長 岡 祐美
直前理事長 情野 裕仁
事務局・財政局次長
中島 克也 渡邊 萌
氏家 瞭
事務局補佐
渡邊 直樹 日下部 皐月
廣野 隆 斎藤 なつみ
監事
渡邊 裕太 浅野 紘太

事業内容

1. とうろう流し花火大会の実施
2. わんぱく相撲の実施と引率
3. 報告書の作成
4. 総会・三役会・理事会等諸会議の設営及び運営・議事録作成の補助
5. 総会資料・会員名簿・出席点集計の業務
6. 渉外・賛助会員に関わる一切の業務
7. LOM運営に関する事項の一切、J C 会館及び備品、各種文書の管理
8. 通信連絡関係・慶弔に関する事項
9. 京都会議引率
10. 理事長のセクレタリー
11. その他、理事会より付託された事項
12. 財政審査会議の開催
13. LOM財政の透明化並びに適正化の推進
14. 予算表並びに財務諸表の作成
15. 内閣府への各種書類の提出
16. 登記関係に関わる事項の一切
17. その他、財政に関わる一切の業務

J C I 福島は2023年7月にて創立60周年を迎えます。

事務局としては、理事長のセクレタリーをはじめ、各種会議の準備や出欠の確認、資料の配信、わんぱく相撲やとうろう流し花火大会の実施を行ってまいります。財政局としては、事業の公益性の確保と予算の健全性をはかるべく財政審査会議を行ってまいります。渉外としては、新たに策定された賛助会員の皆様へのフォロー拡大を進めていきより魅力ある会としてまいります。

第60代理事長菅野 太喜 君や、三役、理事並びにメンバーの皆様の下支えとして事務局・財政局一丸となり会の円滑な運営の一助となるように一年間動いてまいります。

賛助会員紹介

- ゴールド会員
・株式会社テレビユー福島
・福島テレビ株式会社
- シルバー会員
・株式会社ENEOSウイング東北支社



もっす! くっす!
福テレ 59・1・60



「福島テレビはおかげさまで2023年4月に開局60周年を迎えます。」

会員拡大のお願い

御先輩方には日頃よりのご協力を賜り感謝申し上げます。本年度も会員の拡大の為皆様からの情報のご提供やご紹介をいただきたくお願い申し上げます。本来、会員の拡大は組織の存続や運営のためにするものではありません。明るい豊かな社会を築くために行うべきものです。

これからの地域の未来を本気で考え、一緒に行動できる同志を見つけることが本当の会員拡大運動と考えております。そして、入会者を一人前に育てて初めて拡大といえます。人数を増やすだけの拡大だと中身が伴わず、入会してもそれ以上の退会者が出たら拡大の意味を成しません。会の目指す方向性を理解し、一人ひとりが目的をもって活動をする中で、自身の成長に寄与することのできる仕組みづくりが拡大成功への道につながるのです。拡大運動を通じて人材の育成が可能となり、魅力的な人材を育成することで自ずと拡大へつながるという形で活動してまいります。

福島青年会議所 SNS公式アカウント ▶

本年度は各SNSに力を入れていく予定です。
皆様のフォロー、よろしくお願いたします。

